

令和6年度第1回こども・子育て会議開催にあたりアンケート内容について各委員よりいただいた事前のご意見

当日資料

1. 事務局説明

	資料番号	ページ番号	設問番号	内容	対応
1	全て	1		「この調査に回答するのに大体〇分くらいで済みます」という言葉があると目安となり、負担感が軽減され、回収率アップにつながるのではないかな。	「回答にあたってのご注意」に時間を追記いたします。資料5-1は約35分、資料5-2～5-4は約30分の見込みです。
2	5-1、5-3			児童生徒用と中・高校生相当年齢対象用で、回答項目が表になっている質問が、1段毎に網掛けになっているが、網掛けに意識がいつってしまうのではないかな。	資料5-1、5-3のみ、網掛けなしで対応いたします。
3	5-1、5-3	1		児童生徒用と中・高校生相当年齢対象用の問い合わせ先に業者の名前を抜いた方がいいのではないかな。「（調査を実施している会社です）」という説明では、回答者が自分の個人情報をよくわからない会社に使われるのではないかと不安になるのではないかなと思う。	収集データの分析で業者が関与していることを明確にするためにも、業者の名前は掲載したいと考えています。業者説明を国のWebアンケート（小学4年生からおおむね20代の方を対象）での内容を参考にし、「（市が調査を委託している会社です）」と変更します。
4	5-1	2		学年についての調査はあるが、性別についての調査はどうか。女子生徒や男子生徒では体の発達スピードが違うため、回答内容に有意さが生じる場合があるのではないかなと考える。性別の調査を行わない理由を教えてください。	別市町村における貧困調査において、運動実施や進学意向、身近な相談相手の設問では有意な差がみられましたが、貧困対策という視点で必要な項目（自己肯定感、授業理解、学習理解など）に関しては男女差は見られませんでした。そのため、ジェンダーの観点から性別関する設問は追加しない方向で考えています。
5	5-1	6	13	「②自分がよろこぶことをしてくれる」という内容が、具体的にどのようなことなのか理解できなかった。	こどもにとって喜ぶことは、人によるとは思いますが、注記として「ほしいものを買ってくれたり、褒めてくれたり、美味しいごはんを作ってくれたりなど、自分にとってうれしいと感じられることをさす」といった具体例を追記します。
6	5-1、5-3	8、3		資料5-1「あなたのふだんの生活について」Q20、資料5-3「ふだんの暮らしについて」Q8で、「週にどのくらい食事をしているか」という設問だが、資料5-2保護者用、資料5-4 18～39歳用にも設問を追加したらどうか。保護者と児童の認識のズレ、18歳以上との傾向比較もできるのではないかな。	食事の摂取は、こどもにとっては健康状態や生活習慣に関わりますが、社会人にとっては大きく影響を与える要素ではないため、基本的には18歳未満の回答者にとって有意な分析が可能になると考えています。そのため、資料5-4に設問を追加することで計画にとって絶対必要とは考えにくいいため、5-4へは追加しない方向で考えています。 しかし、資料5-2に関しては、「お子さんは、週にどのくらい食事をしているか」等の設問を追加し、保護者と児童の回答を突き合わせることで認識のズレを把握したいと思います。
7	5-1	10	27	この設問の前に、自分専用のスマホを持っているかどうかの調査は必要ないかな。	本設問は、スマホの利用時間を把握し、利用時間の長短が睡眠時間や学習時間などに関連しているかを把握するためのものです。本人のスマホでなく、家族のスマホを借りて使っている場合もあるため、特に今回の調査では必要ないと考えます。

8	5-1	11	31	選択肢「5短大（2年間で卒業）」「6（4年制）大学」の（ ）部分の補足が必要ではないか。	大学や短大も、学部によっては短大でも3年制、大学でも6年制であるケースもあるため、敢えて補足は書かない対応をします。
9	5-1	12	33	「②～1か月以上学校を休んだ」とは、連続して1か月以上休んだという認識でよい。質問の軸が5段階であるのなら「1週間に1・2日休むことがある」という表現にすれば、「よくあった」を選択した場合年間約60日の休みとなり、「不登校傾向」という実態が調査できると考えるがいかがか。	ご指摘の通りと考えます。不登校に関する設問を分け、追加するような方向で検討いたします。
10	5-2			市に対する要望の自由記述を取り入れるのはいかがか。	昨年度に実施した「子ども・子育て支援事業計画」ニーズ調査（Web調査）にて、就学前児童保護者と就学児童保護者に対し、「市に対してどのような子育て支援の充実を図ってほしいか」という設問があります。フリー記載ではないですが、「その他」を選択すると自由記述が必須項目として入力する形となっていました。（結果報告書から抜粋した資料P84、P143参考） 資料5-2 13ページQ37に「その他毎日の生活で感じていることや困っていることなどがありましたら、自由に書いてください」という設問があります。この自由記述の設問に、委員のおっしゃる内容を追加することは可能と考えます。 同様に資料5-4 15ページQ42「最後に子ども・若者に対する支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください」という設問にも、委員のおっしゃる内容を追加し、幅広い対象にご意見を聞きたいと考えています。
11	5-3	1		「回答にあたってのご注意」3つ目の●の「～回答したくないと感じる場合合～」と記載されており、「合」が一つ多い。	削除いたします。
12	5-3	1		「回答にあたってのご注意」5つ目の●「～○をひとつだけつける質問と○をいくつでもつけてよい質問が～」とある。実際の設問では、「5つまで○」というものもあり、見落とす可能性が高い。注意の書き方を資料5-1「児童生徒票」2ページのようにするか、設問自体の「5つまで○」という文言を強調した方がよいのではないか。	説明ページを追加して対応いたします。
13	5-4	1		資料5-3と同様、「回答にあたってのご注意」5つ目の●「～○をひとつだけつける質問と○をいくつでもつけてよい質問が～」とある。実際の設問では、「5つまで○」「3つまで○」というものもあり、見落とす可能性が高い。注意の書き方を資料5-1「児童生徒票」2ページのようにするか、設問自体の「5つまで○」「3つまで○」という文言を強調した方がよいのではないか。	説明ページを追加して対応いたします。

14				こども計画策定にあたり、こども自身にも「どんな支援があったらうれしいか、みんなのためになるか」という自由記述欄を設けるのはいかがか。	昨年度に実施した「子ども・子育て支援事業計画」ニーズ調査（Web調査）にて、小学5、6年生本人に対し、「平日の放課後の過ごし方の希望」「市にどのような施設があったら、放課後の過ごし方がよりよくなるか」という設問があります。フリー記載ではないですが、それぞれ「その他」を選択すると自由記述が必須項目として入力する形となっていました。（結果報告書から抜粋した資料P171、P172参考） また、資料5-1 14ページQ39、資料5-3 12ページQ34に「その他毎日の生活で感じていることやこのアンケートの感想など、自由に書いてください」という設問があります。この自由記述の設問を、委員のおっしゃる設問に変更することは可能と考えます。ただ、漠然とした設問になると、記載をしない方が多くなると思われるため、「支援」ではなく、もう少しイメージしやすい内容に絞る必要があると思います。「その他毎日の生活で感じていることやどんな助けがあったら嬉しいか、みんなのためになるかなど、自由に書いてください」という設問に変更しようと考えています。
----	--	--	--	---	---